

2026年 5月18日
京成グループ

京成グループバス事業4社
**再資源化された原料を活用した制服に
リニューアルします**
脱炭素・循環型社会の実現に貢献

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:天野 貴夫)をはじめとする京成グループは、日本毛織(以下「ニッケ」)が推進するウール衣料品回収・循環プロジェクト「WAONAS(ワオナス)」に2026年2月より参加していますが、2026年6月から京成電鉄バスホールディングス傘下のバス事業4社(以下、「バス事業4社」)で「WAONAS」にて再資源化された素材を一部使用した制服にリニューアルします。



使用済みの服を裁断し、原料の状態に戻す



バス事業4社の新制服

京成グループでは、長期経営計画「Dプラン」の重点施策として「エコロジカルなまちづくりの推進」を掲げ、これまでに使用済み制服を原料とした繊維リサイクルボードの製作や、スーパーや飲食店・社員食堂等で発生した使用済み食用油を石鹼・インク溶剤等として活用し、将来的にはSAF(持続可能な航空燃料)の原料として使用予定など、様々な廃棄物の再資源化に取り組んでいます。

また、2026年3月には「WAONAS」へ、2025年4月に合併した新京成電鉄の使用済み制服・作業服を約4t拠出しています。

この度、京成グループのバス事業再編完了に伴い、バス事業4社において、「WAONAS」にて再資源化された原料を一部使用した制服にリニューアルします。また、着用を終了する従前の制服も、「WAONAS」に拠出し、幅広い用途に活用する予定です。

今後も京成グループでは、脱炭素・循環型社会の実現に向け取り組んでまいります。

※)バス事業4社:京成バス東京、京成バス千葉ウエスト、京成バス千葉セントラル、京成バス千葉イースト

●WAONAS(ワオナス)とは



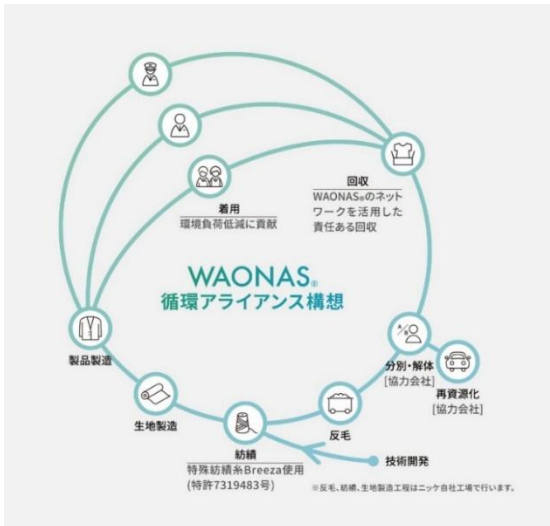
ウールの衣料品は丈夫で製品寿命が長く環境にもやさしいものですが、「WAONAS」は回収したウール混の衣料品を原料の状態まで戻し、再び糸から服へと蘇らせる独自技術開発により可能になった日本初の取り組みです。

リサイクルを発展させた「服から服へ」と循環再生させる環境に配慮した新しいプロジェクトです。

<WAONAS 循環アライアンス構想>

制服を利用している企業・学校等からウール混の使用済み衣料品を回収し、ニッケをはじめとした流通・製造のグループ各社が協力して衣料品循環の実現を目指す事業構想です。

参加するメンバー全体で循環の輪をつくることで、回収量・納期・品質のばらつき等のリスクを分散し、かつ循環型社会の実現に向けた技術を共有し、環境保全活動の推進を目指します。



以上